

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
1 安全・安心まちづくり事業										
1	安全安心まちづくり推進事業	990,000	990,000	986,059	<ul style="list-style-type: none"> ●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していくために、安全安心に関わる様々な分野の団体で構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。 ●地域防犯活動を支援するために、パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域活動を支援します。 ●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板の掲出等を行います。 ●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防犯活動への支援 ●地域パトロールや落書き消し等の支援 ●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進 ●啓発看板等の効率的な維持管理に向けた計画策定及び予備調査 	3(ほぼ目標どおり)	<p>昨年度までの実施事業を継続実施し、加えて新たに、啓発看板等の効率的な維持管理に向けた計画を策定しました。また、当該計画に基づき、今年度は2小学校区の維持管理台帳を作成しました。</p>	<p>本事業は地域の自主的な活動を支援することにより、区内の安全安心を推進する事業であることから、地域の実情に応じたきめ細やかな支援を継続的に行うことが必要であり、現状の支援体制を維持する必要があります。</p>	危機管理担当
2	子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	160,000	160,000	121,129	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども安全・安心協議会を、平成18年3月6日宮前区安全・安心まちづくり推進協議会の設立総会時に、宮前区PTA協議会からの提案により、部会組織として同日に設置したものです。 ●宮前区安全・安心まちづくり推進協議会総会と同時開催により、活動報告、活動計画について確認し、宮前区全体で安全・安心のまちづくりを推進します。 ●各小学校の見守り活動(パトロール)等の状況(登下校時や、夏休み、冬休み等における実施内容)を報告し、地域が活動に多く参加している学校の取り組み状況などについての情報交換を行い、効果的な活動を行います。 ●宮前区子ども安全・安心協議会を開催し、区内の学校、保護者をはじめ、地域住民、事業者、関係団体、警察、行政機関が連携し、子どもを犯罪から守り、登下校時等における子どもの安全などを地域全体で確保することを目指した取組などを行います。 ●子どもたちの安全・安心を確保するために、関係機関、団体、地域住民等の連携強化を図るとともに、地域における子どもの安全に関する意識や子どもたち自身の危機管理能力を高めていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども安全・安心協議会の開催 総会1回、連絡会議1回、企画会議年2回 ●地域安全マップづくり・研修への支援(年2回) 	3(ほぼ目標どおり)	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども安全・安心協議会の開催 総会1回、連絡会議1回 <p>手挙げ方式の「地域安全マップづくり」については、今年度も昨年度に引き続き希望校がなく実施しませんでした。連絡会議で改めて区内各小学校安全・安心協議会に対して周知を図るなど広報に努めました。</p>	<p>地域全体で子どもたちの安全を守る観点から、引き続き、宮前区子ども安全・安心協議会設置要綱に基づく協議会方式により実施することとします。</p>	子ども支援室
3	防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	2,722,000	2,670,000	2,654,527	<ul style="list-style-type: none"> ●各種の防災意識普及啓発活動(防災ニュースの発行、防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。 ●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋がります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「防災ニュース」…区民への防災意識・知識の普及啓発のため、防災ニュースを年3回発行し、関係機関に配布します。より多くの区民に読んでもらうため、配布先の拡大や、発行部数の増加などについて検討を行います。 ●「防災フェア」…区民への防災意識・知識の普及啓発のため、防災フェアを開催します。より多くの区民、特に子育て世代の方に来場いただくため、開催日やプログラムについて、まちづくり協議会と協働で検討し、イベント内容の充実を図ります。 ●「宮前区防災推進員」…推進員の「養成研修」と習熟度に応じた「フォロー研修」を行い、防災リーダーの育成を図ります。また、育成する人材の裾野を広げるために、自主防災組織の他に、PTAや地域団体へも参加促進を図ります。 	3(ほぼ目標どおり)	<p>目標どおり達成できました。</p>	<p>各防災事業は地域の防災意識向上に寄与しているため継続実施とし、全ての事業において活性化を目指します。</p>	危機管理担当
4	地域交通環境整備事業(局区連携事業)	2,500,000	2,500,000	2,148,730	<ul style="list-style-type: none"> ●区役所・市民館・図書館の立地位置の悪さ、拠点機能が宮前平地区と鷺沼地区に分散し区内に核となる中心市街地が存在しないこと、坂道が多く徒歩や自転車を利用した移動に制約があることなどについて、公共交通(路線バス)を活用して課題の解決を図ろうとするものです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区役所敷地内の交通結節点機能の導入に関する調査の継続 ・区役所ターミナル化に向けた基礎調査の実施 ・基礎調査結果に基づく実現可能性等の検討 ●施策の実現に向けた庁内・関係機関・交通事業者との協議・調整と連携の模索 ・検討案による庁内検討 ・検討案による交通事業者との調整 ・関係機関等への事前説明等の実施 	3(ほぼ目標どおり)	<p>目標どおり達成できました。</p>	<p>事業名称を「地域交通環境整備事業」から「次世代まちづくり・地域交通環境向上事業」に変更し、宮前区の課題解決に向けた交通環境の整備の検討に加え、今後のまちづくりに関する課題や課題解決に必要な施策を把握し、住みやすい・暮らしやすいまちづくりに向けた検討を関係局と連携して進めます。</p>	企画課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
5	地域防災力向上事業(局区連携)	4,959,000	4,959,000	4,547,772	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。防災意識普及啓発事業とも連携した効率的な事業執行を図ります。 ●起伏の多い地域特性や駅周辺帰宅困難者の発生を考慮した新たな事業として、誘導案内看板の設置や区役所及び避難所に必要な備品を配備します。 	区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部会における課題の検証と検討をふまえた対応策を講じます。帰宅困難者対策として、地域防災連絡会議における検討、提案を受け、幹線道路、国道246号線への誘導案内標識等の整備に取り組みます。また、避難所の滞在環境の改善のための「避難所備蓄エアマット」、山坂の多い地形に対応した職員の機動力確保を目的とする「災害時道路パトロール用電動自転車」も併せて配備します。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指し、継続して事業化を進めます。3か年の計画整備を行います。	危機管理担当
6	地域防災力向上事業	1,198,000	1,198,000	1,101,865	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項は、宮前区地域防災計画に関すること、地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報の共有等を推進します。 ●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。 ●区役所における的確な初動対応、区災害対策本部機能の強化のための情報管理に資する備品整備を進めます。 	区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部会における課題の検証と検討をふまえた対応策を講じます。宮前区災害対策本部の強化に当たっては、災害発生時に必要な情報を視覚的に一元管理し、的確に把握・共有するために、災害対策本部用「大型防災対策図」を整備します。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して継続して事業化を進める必要があります。	危機管理担当

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
2 総合的な子ども支援事業										
1	子育て情報発信事業 (区民会議課題)	2,212,000	2,212,000	2,044,602	<ul style="list-style-type: none"> ●公募委員を含む改訂等委員会を設置し、区子育て情報誌の改訂版発行の実施や、ホームページによる情報提供の充実に向けた計画について、取組を実施します。 ●子育て世代の孤立感や育児不安を軽減し、安心して子育てができる環境の推進を図るため、以下の情報発信についての取組を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て情報の提供のためのホームページの開設 ・みやまえ子育てガイド「とことこ」の増刷・配布(10,000部) ●宮前区は0歳から14歳までの人口が7区中で最も多く、子育てに関する最新の情報を分りやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区ホームページを利用した、子育て情報専用のホームページを開設し、タイムリーな子ども・子育て支援情報の提供を行います。 ●みやまえ子育てガイド「とことこ」の掲載情報について、最新情報に修正し、増刷・配布します。 ●区内の公園や保育園、幼稚園等の施設情報を掲載した、手軽に持ち歩き可能な「おでかけマップ」を作成・発行し、みやまえ子育てガイド「とことこ」と併せて配布します。 ●子育て情報紙「子育てかわら版」を、印刷物配布からホームページへの掲載に変更します。 	4(目標を上回った)	<ul style="list-style-type: none"> ●みやまえ子育てガイド「とことこ」及び「とことこおでかけマップ」を5月に各1万部作成し、健診時や母子健康手帳交付及び子育て中の保護者の区内転入手続きの際などに配布しました。 ●地域ポータルサイト内に子育て情報専用のホームページを開設しました。 ●フェイスブック及びツイッターページを開設し、7区初のソーシャルメディアを活用した子ども子育て情報の発信を開始しました。また、ユーチューブを活用し、動画で子育て支援事業の広報を行いました。 	従来からの情報誌等による情報発信に加え、今年度から新たに開始したソーシャルメディアによる費用対効果の高い情報発信を継続するとともに、地域ポータルサイト内の子育て情報専用のホームページの充実強化を図ります。	子ども支援室
2	子育て支援事業 (区民会議課題)	1,612,000	1,612,000	1,564,284	<ul style="list-style-type: none"> ●区の特徴から、子育ての孤立化や慣れない生活環境での育児不安などが起こりやすい現状があります。地形的な特徴からも、こどもサポート南野川、向ヶ丘出張所、子育て支援センター、子育て支援の機能を持ち合わせている「新たな公立保育所」3か所のセンター園(土橋保育園)・ランチ園(中有馬・菅生保育園)等の既存の資源が連携し、子育て支援事業の展開が更に必要となります。 ●地域で安心して子育てができる環境づくりとして、地域資源の発掘、人材の育成が求められています。 ●区の子育て支援の充実のため、増加する民間保育園への保育の質の担保・向上の取り組みが必要となります。 	<p>安心して子育てができる環境づくり、子育て支援をする体制作り、こどもが健やかに育つ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●向ヶ丘出張所・こどもサポート南野川の整備 ●新たな公立保育所を活用した取組(食事付き体験保育・プレママプレパパ・父親の子育て講座等) ●子育て支援センターを活用した取組(食育講座・あそびの広場土曜日版・保育連続講座等) ●講座・イベントの開催 ●地域課題事業の取組(親子の子育て応援セミナー)・食育講座(にこにこもぐもぐ)土曜日版 ●地域の民生委員、主任児童委員等と連携した取組 ●情報発信 ●公・民保育所の連携事業の推進(公立の職員が地域をコーディネートし、区が抱えている課題を統括し、課題解決に向けた企画・立案・実施) ●関係機関との連携事業の推進 	3(ほぼ目標どおり)	今年度は、食育講座等の行事の実施場所を子育て支援センターのみでなく、センター園、ランチ園機能を持つ公立保育所でも実施することで、実施回数、実施場所を増やし、子育て中の区民ニーズに沿った対応を行うことができました。	引き続き、センター園、ランチ園を始めとする新たな公立保育所の機能を有効に活用するとともに、民間保育所への段階的な事業移管に伴う保育の質の担保・向上に向けた取組を行ってまいります。	子ども支援室
3	子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	590,000	590,000	532,987	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区は地形的に山坂が多く、交通の利便性が悪いため、子育て支援サービスの提供を受けにくい地域もあります。地域の特性にあった支援を実施しています。子育て世代の転入が多いため、子育ての孤立化や慣れない生活環境での育児不安などが起こりやすい現状があります。 ●区における子育て支援を地域社会全体で支える観点から、子どもたちの健やかな育ちを支える意味でも、乳幼児から学齢児・生徒までつなぐ支援体制の構築が必要です。地域の関係者が連携し、ネットワークを強化することにより、支援体制を効果的に構築していくためには、限られた時間の中での情報共有、意見交換が重要であるため、広く意見を求め、会議のテーマ決めや運営を行う必要があります。 	<p>区における子育て支援を地域社会全体で支える観点から、会議等により情報の共有を行い、地域のネットワークを強化し、関係機関・団体等と協力、連携し事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども支援に関わるネットワーク会議を年間2回開催 ●子育て支援関係者連絡会を隔月開催 ●うえるかむクラス年間3回開催 ●子育てグループ交流会年1回開催 ●幼保小連携事業・幼稚園・保育園・小学校の連携会議 ●小学校教諭の保育園実習研修 ●幼稚園教諭の保育園実習研修 ●保育士の幼稚園実習研修 ●保育園・幼稚園年長担当者等の学校訪問 ●区役所内こどもに関係する部署との連携会議 ●担当者会議1回、課長級会議1回 	3(ほぼ目標どおり)	子育て支援関係者連絡会での調整を行い、新たに他都市等から宮前区内に転入した子育て中の区民を対象とする子育て支援イベント「うえるかむクラス」について、例年の年間2回から3回へ開催回数を増やすなどの積極的な取組を実施し、区民ニーズを的確に捉えた内容となりました。このほか、各取組内容について、着実に推進することができました。	子育て支援イベント「うえるかむクラス」については提供できる情報が多岐にわたり、区内への転入者以外の人たちからの参加希望も多いことから、参加資格を限定することなく広く参加を呼び掛けることで、迅速・的確に区民ニーズを取り入れたものとします。他の事業についても、需要動向を見ながら柔軟な対応を行ってまいります。	子ども支援室

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
4	子ども包括支援事業	289,000	289,000	229,821	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てサロン等の開催、季節のイベント実施等により、育児の孤立化や不安の解消に取り組みます。 ●①子どもサポート南野川の利用者数の増加により、スタッフ体制を2名から3名に増員、②保健福祉センター児童家庭課の専門職が専門的な視点からのアドバイスや個別ケースの支援、③利用者対象のアンケート実施による利用者の実態把握や要望確認、④子育てや心理学の専門家を招き、日頃から不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもたちの対応に当たっている、子育て支援関係者のスキルアップを目指すスーパーバイズの実施により、事業の根幹となる「支援のあり方」についての確認の実施など、取組の充実・強化が図られました。 ●平成21年から開設した「こどもサポート南野川」を子育て支援の拠点として、0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を包括的に行っており、育児の孤立化の防止や不安の解消、仲間づくりの応援や、不登校、ひきこもりなどの問題を抱える子どもたちへの支援として居場所づくりを行い、問題の改善を図っています。 ●子どもたちが抱える問題は、多岐にわたり、複雑で深刻なものも多く、これらに対応するための専門家や専門職種、関連部署の職員等による協力体制の確立など、一層の連携・強化が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援の拠点として支援の充実を図ります。 ・フリースペースの提供 ・地域力を活用したサロンの運営、イベントの開催 ・情報コーナーの充実 ●特別な支援が必要な子どもの居場所づくりを充実します。 ・庁内専門職や関係部署による、利用者のケアマネージメントの実施 ・活動プログラムの充実 ・保護者会の開催(年4回) 特に進路情報等の提供を充実します。 ●地域への広報活動を拡大します。 ・地域の子ども、子育てについて、地域関係機関、団体等との情報交換会の開催(年2回) ・研修会・後援会の実施 ・利用者の地域行事や活動への参加促進 	3(ほぼ目標どおり)	各取組内容・目標について計画的に進めるとともに、こどもサポート南野川での運営会議及び情報交換会においてきめ細かい情報交換を行うなど、目標どおりの事業推進を達成できました。	引き続き、当該事業の目的に向けた着実な事業推進を行うとともに、より良好な子ども・子育て支援体制を確立するために、こどもサポート南野川の施設環境の改善整備を行います。	こども支援室
5	子ども包括支援事業(局区連携事業)	4,778,000	4,778,000	4,692,480	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てサロン等の開催、季節のイベント実施等により、育児の孤立化防止や不安の解消に取り組みます。 ●①子どもサポート南野川の利用者数の増加により、スタッフ体制を2名から3名に増員、②保健福祉センター児童家庭課の専門職職員による専門的な視点からのアドバイスや個別ケースに対する支援、③利用者対象のアンケート実施による利用者の実態把握や要望確認、④子育てや心理学の専門家を招き、日頃から不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもたちの対応に当たっている子育て支援関係者の、スキルアップを目指すスーパーバイズの実施により、事業の根幹となる「支援のあり方」についての確認の実施など、取組の充実・強化が図られました。 ●平成21年から開所した「こどもサポート南野川」を子育て支援の拠点として、0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象とした、子育て支援を包括的に行っており、育児の孤立化の防止や不安の解消、仲間づくりの応援や、不登校、ひきこもりなどの問題を抱える子どもたちへの支援として居場所づくりを行い、問題の改善を図っています。 ●子どもたちが抱える問題は、多岐にわたり、複雑で深刻なものも多く、これらに対応するための専門家や専門職種、関連部署の職員等による協力体制の確立など、一層の連携強化が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象として、以下のとおり、子ども・子育て支援を実施します。 ①不登校などの問題を抱える子どもたちへの、居場所づくり、生活・学習支援、子ども・子育て相談、②子ども・子育て情報の提供、③保護者会、④教育委員会との情報交換、⑤関係者勉強会(スーパーバイズ)、⑥地域向け事業報告会、⑦関係機関連絡会議、⑧事業広報、施設管理、子ども支援、の各会議及び業務 ●こどもサポート南野川の開所から5年を迎え、子どもが抱える問題の複雑・深刻化や施設利用者の増加に対応した、局区連携を始めとする、支援体制の充実強化に向けた取組を推進します。 	3(ほぼ目標どおり)	当該事業のうち局区連携事業による、不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもたちへのしっかりとした支援を行うために、対応スタッフの3人体制を維持継続したほか、地域療育センター所長で小児精神科等を専門とする小児科医を招聘し、小児医療の専門家による支援スタッフへの研修を実施することで、こどもサポート南野川の役割や機能について充実強化を行いました。	引き続き、当該事業の目的に向けた着実な事業推進を行うとともに、より良好な子ども・子育て支援体制を確立するために、こどもサポート南野川の施設環境の改善整備を行います。	こども支援室
6	こども自然探検隊事業	100,000	100,000	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ●当該事業を開始した平成23年度から平成25年度までの3年間において、包括的なこども子育て支援事業の中で、年1回の催事として実施してきましたが、事業として定着してきたことから、平成26年度から「あつまれ！こども自然探検隊事業」として、継続実施することとしたものです。 ●子どもたちが、自然と接する機会が不足していると言われていた中で、区内の自然環境を利用した自然観察会の実施や、森・里山遊び、農作業等体験など、自然と触れ合い関心を持つことで、自然を大切にすることを育てるとともに、これらの自然を守る大人たちとの交流する機会を持ち、回数を重ねることで、地域コミュニティにおける子どもたちの繋がりを深め、活性化を図るものです。 ●事業実施は、実施場所の自然環境や地域特性に熟知した、経験豊かなスタッフ陣がいる団体により行います。 ●今後は、他の活動団体にもこの取組への参加を呼びかけ、活動の範囲を広げていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●とんもり谷戸の自然を利用して、次のような体験を通じた子どもたちによる自然との触れ合い・共生についての学習を行います。 ①森歩き、竹の伐採、竹を使った器や串づくり ②ダイコン掘りやサツマイモ掘りなどの畑での収穫体験 ③丸太切りなどの木こり体験 	3(ほぼ目標どおり)	1月11日と3月8日の2回開催し、とんもり谷戸の自然の中で、森・里山遊びや農作業等を体験できました。また、開催当日の様子についてPR動画を制作し、YouTubeで配信しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度からの実施回数増及び実施手法の委託方式への変更を円滑に実施することができました。 ・今年度の実施結果を踏まえ、より効果的に事業目的を達成できるよう、実施時期や子どもたちが体験できる遊びの内容について、見直しを図ってまいります。 	こども支援室

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度 of 取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
3 環境まちづくり事業										
1	花と緑のあふれる 住みよいまちづくり 事業	1,652,000	1,652,000	1,349,532	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況です。第4期宮前区区民会議においても、公園を地域コミュニティの核として活用することが求められており、地域管理の促進とネットワーク化が必要なため、花壇を通じて、緑化活動団体の活動の活発化と、団体相互の交流を推進します。また、緑化活動団体の新規団体の立ち上げを支援することにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)、区内の緑化活動団体・公園管理団体の拡充を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を支援 ●新規緑化活動団体立ち上げ及び活動の支援 ●緑化活動団体の活動の活性化を図るため、緑化促進に関する講座等を開催 ●緑化活動団体の交流促進、情報交換ができる交流会等の開催 ●東名IC花壇の整備 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	緑化活動団体活動の維持・活性化を継続して図る必要があるため、次年度は、現状の事業内容を維持する方向となりました。	地域振興課
2	区役所庁舎エコ化 事業	4,220,000	3,263,000	3,262,680	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区役所は建築から31年が経過し、既存設備の劣化が多々見受けられ、冷暖房能力の低下は著しい状況となっています。また、庁舎長寿命化の促進はもとより、庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明についても対策が必要となっています。 ●庁舎の省エネルギー化(遮光遮熱フィルム設置及び照明設備のLED化)を推進することで、市民への省エネ意識を啓発することはもとより、快適な庁舎利用及びサービス向上を目的とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区役所2階保険年金課及び保護課の照明設備(40W型200本)のLED化 ●区役所3階及び4階南側の遮光遮熱フィルムの設置(103㎡) 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のLED照明設備及び遮光フィルムの導入の結果、電気料金削減及びCO2排出削減をすることが出来ました。来年度以降も市民への環境意識向上を目指し、太陽光発電設備の増設、環境配慮型設備等の導入を含め庁舎内の環境整備状況を勘案しながら事業を継続します。	総務課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の実行内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
4 地域資源活用事業										
1	みやまえロビーコンサート 開催事業	2,512,000	2,512,000	2,494,800	●地域への関心や近所づきあいの希薄化が進み、地域コミュニティの形成・促進が必要となっています(第1期区民会議より)。また、宮前区には、音楽等の文化に触れる場所や活動が少ないため、「音楽のまちかわさき」につなげると同時に、区役所等のイメージアップ、地域コミュニティとして市民活動の情報発信・施設近隣住民のコミュニティ形成の場として、行政施設において「ロビーコンサート」を継続して実施します。	●第250回目の記念コンサートを開催 ●毎月1回のロビーコンサートを開催します(区役所以外の行政施設等で開催する巡回コンサートも含む。)	3(ほぼ目標どおり)	●第250回目の記念コンサートは、10月11日に区役所2階ロビーで開催しました。巡回コンサートについては、7月に向丘出張所、9月に青少年の家、11月にアリーナ、2月に菅生こども文化センターでそれぞれ開催しました。 ●1月及び2月には、来場者へのアンケートを実施し、次回以降の来場についての設問に対して、9割以上の方々が「また来たいと思う」の回答を得ており、今後も区民の皆様へ上質な音楽を提供していきます。	行政イメージの向上や地域への愛着を深めることを進めるため、当初の検討方針どおり、次年度は、事業内容を現状維持する方向となりました。	地域振興課
2	みやまえ太鼓ミーティング 開催事業	1,902,000	1,902,000	1,754,836	●宮前区は近年開発等により発展し、また、昼間人口が少なく、地域のつながりが希薄となっていることを第1期区民会議においても指摘され、宮前区の特徴を活かした、人と人がつながるコミュニティを形成していくことと、地域の文化・伝統の継承について課題となっています。地域の魅力である文化・伝統の再認識と民族芸能等を活用した地域コミュニティの促進を目的に、区内の太鼓演奏団体を一堂に会した「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を継続開催します。	●区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。 ●区内の中学校や保育園等にも協力してもらおうことで、伝統文化の継承を促進します。 ●気軽により多くの来場者等に鑑賞してもらうため、鑑賞は無料とします。 ●ゲスト出演者を招くことによるイベントの活性化と、ワークショップの開催による団体のスキルアップを図ります。 ●今後の内容・運営手法について検討するため、アンケートを実施します。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	区民主体の文化・伝統芸能、民俗芸能等の保存・継承のため、当初の検討方針どおり、次年度は、事業を現状維持する方向となりました。	地域振興課
3	しあわせを呼ぶコンサート 開催事業	2,782,000	2,782,000	2,781,365	●音楽を通じた、地域に暮らし集うすべての区民、市民の相互理解と交流により、バリアフリー社会の構築と福祉型社会の増進に努めます。あわせて、障害者の自立支援と社会参画の推進に取組みます。 ●広く開かれたコンサート事業として質の高い音楽の提供と「音楽のまちかわさき」事業の推進を進めます。	●コンサート事業(第1部:宮前区内の障害者施設・作業所に通所する方々による合唱、第2部:プロの演奏家によるゲストステージ) ●第15回目となる節目の記念事業と市制90周年記念事業となるコンサートとして開催します。 ●区民、市民へ広く開かれた事業とするともに、参加される全ての方々、地域に暮らし集う方々の相互交流を通じ、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進を図ります。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。(節目、記念の事業として前年比、来場者は6%増加、アンケート回収率は42%増加しました)	地域に広く認知された事業ではありませんが、より充実強化に向け、地元商店、金融機関などの協力を得、広報活動等の充実を図りました。また、区内中学校支援学級の生徒、教職員へも呼びかけ見学参加していただきました。次年度へ向けては事業の安定的継続へ向けて実行委員会を立ち上げるなどの取組を進めることとしました。	地域振興課
4	地域の魅力発信事業	760,000	760,000	735,084	●宮前区は転出・入率が高い値を示し、住民異動者が多く、第1期宮前区区民会議においても、地域の魅力を再認識し、共有することが必要であるとされ、宮前区の隠れた魅力に関する情報の収集・整理と、効果的な発信を行い、地域の再発見や郷土愛の醸成につなげることが課題となっていることから、区民との協働による魅力(歴史的遺跡や農などの地域資源)に関わるウォークイベントの開催やマップの発行等による啓発活動を実施します。	●宮前区の歴史や文化を紹介するウォーキングイベントを宮前区歴史文化調査委員会と協働して開催(4回) ●宮前区で息づく農を紹介する農家巡りウォーキングを農産物直売所ガイド&マップを活用して開催(2回) ●「宮前歴史ガイドまち歩き」(マップ)の新規作成	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	橘樹官衙の国史跡指定等の新たな地域の魅力について、より効果的な情報提供を行うため、次年度は事業の継続に加えて、歴史ガイドの改訂業務を実施します。	地域振興課
5	友好都市交流事業	505,000	505,000	388,365	●区政15周年事業の一つとして平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業を継続し、両市区の交流をさらに深めていきます。長野県佐久市との交流を実施することで、互いの市にない要素を補完し合い、「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現を目指します。 ・民間交流事業委託:都市化が進む宮前区において、子供たちが佐久市での自然体験を通じ、里山保持、緑の回廊作りなどの重要性を学びます。運営は体験研修のプログラム作りや、参加者募集、引率など主体的に行える団体に事業委託して行います。想定参加者40名、1泊2日。 ・物産観光交流事業委託:両都市の観光物産交流を積極化させるため、宮前区観光協会に委託して行います。	●民間交流事業(子ども自然交流事業) ・佐久市との交流の一環で、民間を主体とした自然交流事業を実施します。運営は体験研修のプログラム作りや、参加募集、引率など主体的に行える平瀬川流域まちづくり協議会へ委託して行います。 ●物産・観光交流事業委託 両都市の観光物産交流を推進するため、宮前区観光協会に委託して行います。 ①区民祭への佐久市物産展招致。 ②りんごオーナー仲介事業。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度の友好都市民間交流事業も着実に実施しており、また、物産観光事業交流事業においても、区民祭への物産展誘致やりんごオーナーの募集PRなどを行い、佐久市との交流は着実に進んでいることから、現状の事業内容を維持する方向となりました。	地域振興課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の実行内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
6	みやまえC級グルメコンテスト事業	300,000	300,000	247,256	<ul style="list-style-type: none"> ●C級グルメコンテストは、宮前市民館の市民自主企画事業で20年度から実施し、25年度から区役所事業に移行しました。 ●生産者と消費者・料理店などとの間にまだ距離があり、直売所の利用や宮前区産の農産物の消費も思うように進んでいません。その距離を縮め、直売所の利用を促進し地域での消費を伸ばすため互いの交流を図ります。 ●区内で営業している料理店は、流通ルートに乗っていない地場産農産物を活用したくても仕入れることがわからないことが指摘されています。そこで、生産者との交流を図りお互いの顔を合わせることで、地場産農産物のメニューへの活用と地産地消を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一層の周知を図るため、C級グルメコンテストを実施します。(年1回) ●消費者と生産者の交流を図るため、地場産農産物を使った料理講習会と生産者と消費者の座談会を実施します。 ●生産者と料理店の交流を図り、農産物の仕入れルートを確立するため、「名刺交換会」を開催します。 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	JAセラサとの協働事業について、検討します。	生涯学習支援課
7	宮前区サイン整備計画事業	3,975,000	3,953,000	2,564,784	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区内にある、坂道紹介やお散歩マップ、駅案内板、モニュメントなどのサインは設置から年数が経過し、所管が不明確、老朽化、情報の更新状況の把握不足等の課題が顕在化しています。 ●平成25年度に宮前平駅周辺500m圏域、平瀬川お散歩コース沿いを調査し、課題整理をしました。 ●平成26年度からは区全域の現況調査等を行い、市民意見を踏まえた上、適正な維持管理等に向けた取組が必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区全域のサイン設置状況調査 ●駅前でのアンケート調査 ●公募委員による宮前区サイン整備計画市民検討会議を設置・運営 	3(ほぼ目標どおり)	駅前でのアンケート調査については区民祭での駅利用者を主な対象としたアンケートに変更しました。	今年度実施した各調査や市民検討会議の結果について庁内での情報共有を行い、各サイン所管課で必要に応じた修繕や予算要求等を行っていくこととなりました。	企画課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度 of 取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
5 地域コミュニティ活性化推進事業										
1	まちづくり推進事業	3,982,000	3,982,000	3,908,055	●「川崎市市民活動支援指針(2001年)」や「宮前区区づくりプラン(1997年)」に基づき、行政主導ではない区民が主体となり協働したまちづくりを推進し、市民団体の活動が活性化するような環境を整備するため、中間支援機能を持った「宮前区まちづくり協議会」に委託し、市民活動団体の活動紹介等の広報紙、各種メディアによる情報発信や助成金による団体支援、地域の魅力、市民団体の活動紹介のためのウォーキングイベントの開催、更に市民活動団体の相互の交流推進や区民のまちづくりに対する意識向上を図るまちづくりフォーラムの開催などについて、協働により実施します。	●広報紙の発行やホームページ・Webマガジンによる市民活動団体の情報発信や活動紹介、地域の魅力等の発信 ●市民活動団体の活動支援のための助成金の交付 ●市民活動団体や行政施設の紹介、魅力発信のためのウォーキングイベント等の開催 ●市民活動団体の活動を支援するための各種講座の開催 ●市民活動団体の交流や区民のまちづくりに対する意識向上を図るため、まちづくりフォーラム「まちづくり広場ラブみやまえ」を開催	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	市民活動団体のさらなる活性化に向けて支援を継続する必要があり、当初の検討方針どおり、次年度は事業内容を現状維持する方向となりました。	地域振興課
2	まちづくり支援事業	2,835,000	2,835,000	2,828,520	●市民との協働のまちづくりを円滑で効果的に推進していく上で、まちづくり専門家としての見地や、活動に関する提案、助言及び情報提供等を行うことが必要不可欠であり、また、個別の市民活動団体の相談、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等を行うためコンサルティング業務を委託し、宮前区まちづくり協議会の活動を支援します。	●宮前区まちづくり協議会活動及び市民活動団体の活動に対するコンサルティング業務の委託(事業提案、制度設計、講座企画、イベントの運営支援、情報提供、データ分析、ポスターデザイン、会議資料作成、事業報告書作成等) ●宮前区まちづくり協議会の第9期移行に向けた事業方向性及びコンサルティング委託業者の検討	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	市民活動団体のさらなる活性化のため、まちづくり協議会への支援を継続する必要があり、当初の検討方針どおり、次年度は事業内容を現状維持する方向となりました。	地域振興課
3	宮前区スポーツ推進事業	2,590,000	2,590,000	2,359,432	●平成22年12月にフロントウオウさぎぬまとまちづくり連携協定を締結し、区役所と様々な分野で連携することが可能となりました。また、平成24年9月に川崎市スポーツ推進計画が策定され、区民が気軽にスポーツを行うことのできる環境を整備すること、幅広い世代の区民がよりスポーツに親しめる環境を作ることが定められました。また、子供から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を実施することで様々なスポーツに親しめることを目指します。	●フロントウオウさぎぬまとの連携事業(グラウンドゴルフ大会、ポールウォーキング観戦ツアー等) ●トップアスリートを活用したスポーツ推進事業	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度の魅力あるスポーツ推進事業の取組の結果、体力向上や健康増進など、スポーツや健康づくりへの意識向上など、ニーズにあった事業展開や効果的な広報の課題が残っており、予算調整により継続の方針で調整を行い、当初の検討方針どおり、次年度も事業内容を継続する方向となりました。	地域振興課
4	宮前区スポーツ推進事業(局区連携事業)	37,285,000	37,285,000	35,603,280	●平成23年8月にスポーツ基本法が制定され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」と定めています。宮前区は多摩川河川敷に面しておらず、山坂が多いことから、7区の中でもスポーツ施設数が少ない現状がある一方、区民のスポーツに関するニーズは高く、子供から高齢者までスポーツに親しめる環境づくりが必要となっています。 ●平成24年9月に川崎市スポーツ推進計画が策定され、区民が気軽にスポーツを行うことのできる環境を整備すること、幅広い世代の区民がよりスポーツに親しめる環境を作ることが定められました。 ●鷺ヶ峰西住宅公益用地を鷺ヶ峰けやき公園多目的広場として整備することで、区民が身近にスポーツができる場所を拡充します。また、区民がソフトボール等で利用している西長沢公園多目的広場の補修整備を実施します。	●鷺ヶ峰西住宅公益用地を鷺ヶ峰けやき公園多目的広場として整備する。また、地域で自主的な管理・調整が行えるよう、管理運営組織の立ち上げを支援する。 ●西長沢公園多目的広場の一部補修の施工を支援する。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度の鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の整備及び西長沢公園多目的広場の暫定整備の取組の結果、スポーツができる広場としての維持管理やスポーツ環境の向上に向けた検討の課題が残っており、サマーレビューや予算調整により課題解消に向けた調整を行い、当初の検討方針どおり、次年度は事業内容を多目的広場の補修整備及び鷺ヶ峰けやき公園多目的広場のスポーツ環境の向上に向けた検討を行う方向となりました。	地域振興課
5	みやまえスポーツふえすていばる開催事業	2,017,000	2,017,000	1,939,216	●平成23年8月にスポーツ基本法が施行され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」と定めており、区民のスポーツに関するニーズは高く、子どもから高齢者までスポーツに親しめる環境づくりが必要となっています。 ●スポーツに親しみ、楽しむことは体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域で行われているスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、区民がスポーツを親しむとともに、スポーツを通して区民同士がふれあい、交流を深めることで、地域コミュニティの活性化を図ります。	●みやまえスポーツふえすていばるの開催 ・女子バレーボール大会(宮前地区・向丘地区・区) ・ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区) ・ドッジビー大会(宮前地区・向丘地区) ・歩こう会(宮前地区・向丘地区) ・ディスクカバーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区) ・ジュニアフットサル大会 ・区長賞贈呈 ●アンケート調査実施	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今後も各種スポーツ大会をとおして区民の健康増進と地域コミュニティの活性化を図るため、当初の検討方針どおり、次年度も事業内容を継続する方向となりました。	地域振興課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
6	地域情報発信事業 (区民会議課題)	3,455,000	3,455,000	3,085,776	<ul style="list-style-type: none"> ●地域社会における住民相互の関係の希薄化が課題となる中、住民が地域に関心を持ち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。 ●イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、興味のある住民も参加しにくい状況にあります。区民会議においてもこの課題について議論・提案が行われ、これまで(1)地域イベントをまとめた情報紙の定期的な発行、(2)転入手続時に地域の魅力を知ってもらうため冊子の配布を行ってきました。また、効果的に回覧物を配布する施策として、(3)町内回覧物の一括配送業務を委託し実施してきました。 ●区の魅力をアピールするイメージキャラクターとして、「宮前兄妹」「カッチちゃん」は今後も活躍が期待されており、適切な維持管理を行っていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歳時記みやまえ イベントカレンダーとして、地域の伝統行事・イベント等を情報発信し、地域のコミュニティ活性化を図ります。取材・編集およびインターネットによる発信を業務委託します。 ●回覧物一括配送 町内会・自治会等への回覧物を集約し、委託事業者により分配・封入・配送を一括して実施します。 ●ぐるっとみやまえの編集・印刷 おもに転入世帯に配布し、宮前区の魅力、観光スポット等を紹介し地域への参加を呼びかける冊子を改訂します。 ●宮前区PRキャラクターの維持管理 区役所事業のみでなく一般の団体にも貸出をすることで区の魅力をアピールし、洗浄等を行い適切な維持管理を行います。 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のぐるっとみやまえの発行においては、区民との協働事業によって事業を進めた結果、当該団体と「宮前区の情報発信等に関する協定書」として協働に関する協定を締結するに至りました。引き続き、区民との協働によって事業を進めていくほか、より効果的な情報発信に向けた手法の検討や既存の媒体・広報物の統合に向けた検討を行っていきます。	企画課
7	多様な主体の社会参加促進事業	700,000	700,000	700,000	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休み子どもあそびランドの実施 平成14年度に、子ども達の夏休み体験の一環として、地域の大人との世代間交流の場の提供を目的に宮前市民館自主事業で事業化されました。翌年度から新たに創設された市民提案型の市民自主企画事業に移行しました。以降平成22年度まで、同事業で実施され、平成23年度から地域課題対応事業に移行しました。 ●夏休みの最後の日曜日に市民館全館を使って開催し、日本に古くからある遊びや氷3トンを使った氷山、カンパジづくり、舞台での活動発表などの遊びや表現などを通して、多様な主体同士が交流します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休み子どもあそびランドの実施 ●新たに、高齢化する遊びの達人の世代交代を図るため、養成講座を開設します。 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	引き続き、多様な主体が交流できるよう内容や方法を工夫します。達人養成講座も実施します。	生涯学習支援課
8	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業	441,000	441,000	228,800	<ul style="list-style-type: none"> ●平成23年度に「宮前区地域人材育成に係る基本指針」を策定し、「市民対象学級・講座・イベント企画・運営マニュアル」を作成しました。指針を活用した、庁内部署における地域人材を育成するため、生涯学習支援課と連携したモデル事業を実施しました。同時に事業の検証や新規連携モデル事業の検討を行ないました。 ●自治基本条例に謳われている市民自治の土壌作りのため、地域で活動する人材を育成する必要があります。そのため、生涯学習支援課と区役所の部署が連携してモデル事業として人材の育成を図ります。 ●宮前区では「宮前区地域人材育成に係る基本指針」を策定しており、「学び」と「実践」を機能的に連携させ、市民協働を効果的・発展的に推進する指針の目指すところを庁内で共有しながら活動を充実させる必要があります。 ●区が実施する、講座や事業について内容や対象者など重複している例が見受けられるため、整理が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な人材を育成するため、連携モデル事業を検証・実施します。今年度は、地域振興課と連携し「町内会・自治会に関わる広報人材育成講座」の実施 ●新規連携モデル事業の検討 ●連携モデル事業を踏まえた、「宮前区地域人材育成に係る基本指針」の検討 ●マニュアルの活用研修を実施 ●類似事業の整理統合や連携方法の検討及び展開 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	次年度は、連携モデル事業として、道路公園センターと協働で「公園管理入門講習会」を実施します。	生涯学習支援課
9	市民活動支援拠点のネットワーク事業	911,000	911,000	709,925	<ul style="list-style-type: none"> ●第4期宮前区区民会議において、市民活動団体の活性化と次世代の担い手不足が議論され、市民活動団体及び団体の拠点周知等が課題となっているため、市民活動拠点の情報収集と当該市民利用施設を紹介したマップの作成や、各支援コーナー登録団体を紹介した冊子の作成配布を行い、市民活動団体への参加を促し、市民団体の活動活性化と活動拠点のネットワークを構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動拠点の情報収集・発信 ●市民利用施設を紹介したマップの作成配布 ●各支援コーナー登録団体を紹介した冊子の継続配布 ●区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの運営支援 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	市民活動参加促進及び市民活動の活性化を図るため、次年度は、市民活動拠点の情報発信を継続する他、市民活動団体の情報を発信する方向となりました。	地域振興課
10	みやまえカルタ制作事業 (区民会議課題)	603,000	603,000	208,565	<ul style="list-style-type: none"> ●都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区(平成22年国勢調査より)は、地域への興味や愛着が薄れがちであることから、宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りと地域コミュニティの活性化に取り組むことについて、第2期区民会議から提案され作成した「みやまえカルタ」を、地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとして活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や学校でのイベント等におけるカルタ大会の開催やカルタ展示等による普及促進 ●チラシ、ポスターの作製及び区内の学校や福祉施設等への配布による普及促進 ●学校等での利用状況の把握と促進 ●地区カルタ、記念カルタの販売 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	地域への興味や愛着を抱くきっかけ作りのため、当初の検討方針どおり、次年度は、事業内容を現状維持する方向となりました。	地域振興課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の実組内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
11	冒険遊び場活動支援事業 (区民会議課題)	934,000	934,000	573,624	<ul style="list-style-type: none"> ●現代の子どもには、自分たちが自由に遊べる空間が不足しており、その成長にとって必要な時間・空間・仲間の「3つの間」がないといわれていることから、公園というオープンスペースを活用して、与えられた遊具だけでなく思いきり遊ぶことのできる、外遊びの環境を確保する必要があります。 ●2011年度(平成23年度)の事業開始以来3年が経過し、現在では登録団体が5団体となり、それぞれの地域で活動を継続して実施し、当該事業の子どもの成長に果たす役割や地域コミュニティの活性化などについて、一定の理解が得られています。 ●公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化と次世代育成の場づくりを進めます。 ●公園を地域コミュニティの拠点として機能させるためには、幅広い年齢層のより多くの人に気軽に集い利用してもらう必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●冒険遊び場支援要綱に基づく活動支援 ●広報物の作成支援 ●開催に必要な物品等の貸出 ●ネットワークづくりの活動支援 ●地域の担い手育成 ●冒険遊び場の広報 ●ブラッシュアップ研修の実施 ●事業の普及・推進 ●出張冒険遊び場の実施 ●冒険遊び場シンポジウムの実施 	3(ほぼ目標どおり)	<p>広報物の作成支援については、広報リーフレット5,000部の作成及び配布を行いました。また、出張冒険遊び場の実施状況を、こども支援室管理のフェイスブックに写真も併せて掲載する等の工夫を行いました。</p>	<p>今年度に初めて当該事業の実績を持つ事業団体への業務委託を実施したところ、順調かつ円滑に業務を遂行できたことから、次年度も引き続き業務委託の方式として実施します。</p>	こども支援室

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の実施内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
6 区役所サービス向上事業										
1	宮前区役所BGM 配信事業	44,000	97,000	95,904	<ul style="list-style-type: none"> ●窓口来庁者の多いフロアを中心に繁忙期等は受付待ちが長時間にわたることもあり、クレームや区役所イメージの低下につながる恐れもあります。 ●区役所庁舎に音楽を流すことで区役所サービス向上につなげることを目的に、平成14年10月から本事業を実施、区役所に設置している専用のスピーカーを用いてBGMを庁舎内に配信しています。 	●区役所庁舎内にBGMを配信し、区役所サービスの向上につなげる。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	次年度もBGM配信事業を継続していきます。 今後は、設置後10年以上経過した配信装置への対応等についても検討していきます。	総務課
2	バリアフリー推進事業	2,495,000	2,495,000	2,494,800	<ul style="list-style-type: none"> ●区役所・市民館の間にある広場は、庁舎建築後31年による劣化によりタイルが欠けており、転倒等による事故が発生する可能性があります。ノンスリップタイル化することにより利用者が安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。 ●区民が安心して使える広場を目的とし、平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。区役所周辺のタイルのノンスリップ化を実施し、現状市民広場が未実施箇所となっている状況です。 	●市民広場中央通路(90㎡)のタイルのノンスリップ化。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のタイルのノンスリップ化をすることでバリアフリーの促進をすることが出来ました。来年度以降も庁舎内及び庁舎周辺のバリアフリーの状況を勘案しながら事業を継続します。	総務課
3	窓口サービス向上事業	609,000	609,000	535,284	<ul style="list-style-type: none"> ●来庁者に対し親切・丁寧なサービスを行い、区役所をより満足度が高く快適に利用していただくため、毎年、区役所内でワーキングチームを募集・結成し、当事業の施策について検討していきます。 ●個人情報の適正な管理及び公平、公正、効率的な事務執行により、区民から安心、信頼される区役所サービスを提供できるよう継続的な取組を行います。 ●研修の充実・強化により、職員のレベルアップ及び組織の活性化を促し、より質の高いサービスを提供できる組織づくりを推進します。 ●区民人口の増加や出張所の機能縮小等により、受付窓口が混雑し、順番待ち時間が長くなり易い傾向にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区役所サービス向上の課題検討と対策の実施 ●傘袋スタンドの整備(雨天時来庁者の利便性向上) ●ステッキホルダーの整備(高齢者、障害者や杖、傘等を所持された方の利便性向上) ●転入者への各種手続き案内チラシの作成、配布 ●待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充 ●接遇研修会等の実施 ●IT技術や民間活力などを利用した庁舎環境改善策の検討 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	窓口に来る来庁者の方に対するサービスをより良くするための在り方について、次年度も引き続き検討、実施していきます。	区民課
4	区役所サービス向上推進事業	1,360,000	2,317,000	2,316,600	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区役所は建築から31年が経過し、庁舎の汚れ及び劣化が多々見受けられ、壁紙の劣化に伴う庁舎内の照度の低さが著しい状況となっています。また、床材劣化による剥がれがあり、危険な状況となっています。これらを改善し、快適な庁舎利用及びサービス向上を目的とします。 ●来庁者にとって明るく安全で快適な庁舎になるよう平成25年度に事業化しました。 ●平成25年度に区役所サービス向上を目的とする区役所サービス向上委員会ワーキングチームと連携して庁舎全体の壁紙の張替及び1階の床材の張替を実施しました。 	●区役所庁舎2階の床材の張替(237㎡)及び階数案内表示の整備を実施。	4(目標を上回った)	目標に加え、食堂の内装等の補修を実施し、市民サービス向上を達成できました。	今年度は床の張替を実施し、市民サービス向上を達成することが出来ました。来年度以降は引き続き区役所庁舎内の状況を見ながら事業を継続します	総務課

平成26年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	26年度の実行内容・目標	達成状況	実績等	27年度以降の事業の方向性	担当課
7 区の新たな課題即応事業										
1	区の新たな課題即 応事業費	5,000,000	5,000,000	4,916,571	●年度途中で発生する新たな課題に適切かつ迅速に対応する事業 です。	●即応すべき課題が生じた場合に、適切 に対応	3(ほぼ目標 どおり)	●子育て支援センターチラシ作 成 ●「夏休み親子わくわくキャン pinとどろき」「食育講座」「教育評 論家による講演会」等の開催 ●橋樹官衙の国史跡指定や 鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の 整備等に伴う「みやまえ歴史ガ イド」修正、鷺ヶ峰遺跡説明板作 製、懸垂幕の掲出、多目的広場 完成式典等 ●区の魅力発信クリアファイル 作成 ●エレベータ用防災キャビネット 設置による区役所サービス向上 ●区役所内への記念撮影コー ナー設置 ●子育て期における学びと地域 活動について考える集い ●高齢者や障害者にやさしい庁 舎環境の整備 ●宮前市民館の照明LED化	即応すべき課題が生じた場合に、適切に 対応していくために、現状維持を行いつ つ、より柔軟な対応を行っていく必要があ ります。	企画課
8 その他										
1	管理運営経費	711,000	710,000	431,234	地域課題対応事業における事務経費					
2	区民車座集会開催 経費	0	22,000	21,276	●市民の声がしっかり伝わる身近な市政の実現のため、市長が直接 区民から意見を聴く「区民車座集会」を開催するに当たり、聴覚障害 者の区民車座集会への参加機会を創出するため、手話通訳者の派 遣を依頼します。	●「区民車座集会」を開催するに当たり、聴 覚障害者の区民車座集会への参加機会を 創出するため、手話通訳者の派遣を依頼	3(ほぼ目標 どおり)	目標どおり達成できました。	平成27年度以降は、総務局予算で対応す ることとなりました。	企画課

合計	106,690,000	106,690,000	99,259,820
-----------	--------------------	--------------------	-------------------